

人生設計と経済設計

1. 次の文中 () 内に語句を書き入れましょう。

経済設計で大切なのは、将来遭遇するかもしれない危険の可能性（リスク）に対して予備知識をもち、必要な準備をしておくことである。かつての社会では、おもに家族の扶養や地域の人々の援助によって、生活が支えられてきた。しかし、現代社会では（①）や都市化の進展により、血縁地縁による相互扶助が次第に困難になってきた。また、（②）、経済変動も激しく長い人生を見通して預貯金などにより計画的に将来に備えるという個人の（③）にも限界がある。このような社会にあって、社会保障制度は導入されてきた。1958年：（④）法、1959年：（⑤）法が制定され、すべての国民が何らかの医療保険と公的年金に加入する。いわゆる（⑥「」）体制が実現することになった。2000年4月からは、（⑦）が開始され、介護が必要になった状態のときに給付を受けられる制度ができた。

2. 一生の中で遭遇するかもしれないリスクにはどのようなものがありますか？
そのときにかかわる保障は？また、いつ頃必要になるかあげてみよう。

リスク	保障（保険）	いつ必要

3. ライフサイクルにそった社会保障制度

保障の方法としては、現金給付（年金や医療費・介護費、失業など）と現物給付（医療サービス・保育所・公共住宅など）がある。

*現金給付をライフサイクルにそって書き込んでみよう。

年齢	0	6	15	18	20	40	60	70	保険料
	就学前	就学時			子育て・就労期			退職後	(円)
{①	(医療費保障)}						退職者 医療制度	老人保健	⑤
(②)	児童扶養手当				(③)				⑥
{④	(遺族年金・障害年金・老齢年金)}								⑦
	生活保護								
	労災保険								⑧
	雇用保険								⑨

4. テレビのCM、新聞広告でどんな保険があるか、書いてみよう。

テレビ	新聞

5. 生命保険と損害保険とはなんだろう。

生命保険とは：

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

損害保険とは：

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....